

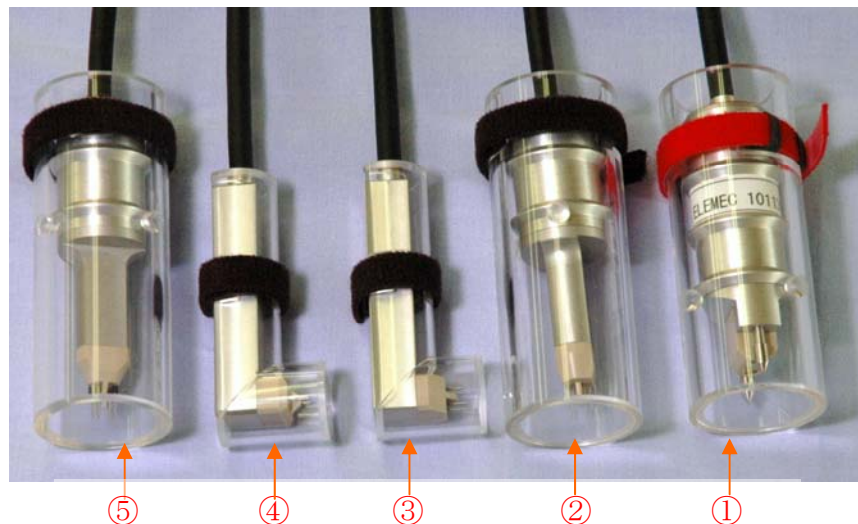
～高感度き裂深さ測定器バージョンアップのご紹介～

「き裂深度計 6-2 型」(測定原理は高感度き裂深さ測定器 4 型に同じ)

- 2010 年 12 月、国内某原子力発電所に採用され納入されました。
- 各種形状プローブの開発が成功し、今まで測定困難と思われている場所や測定体形状に対しても高精度を維持した、き裂深さ測定が行えるようになりました。
- 超音波法で測定困難と思われている場所の状況や形状に対しても OK です。
- 測定コストが超音波法やその他の方式に比べ圧倒的優位です。
測定費用の低コストに対しては測定現場から絶賛の声を得ております。
- 本測定装置の水中測定の可否について現在鋭意検討中です



プローブをブ
ローブ保護ケ
ースに装填さ
れた状態写真





●プローブの種類

- ① 標準型(A)プローブ
- ② 細型(A)プローブ
- ③ L型(H)プローブ
- ④ L型(V)プローブ
- ⑤ コーナー角部プローブ

- ①標準型(A)プローブ：自動スイッチ機能付き 接触端子伸縮量：2mm
※き裂ライン当てピン付き、平面、多少の湾曲面にOK
- ②細型(A)プローブ：4端子接触端子伸縮量：4mm、自動スイッチ機能無し
※狭く奥まった所の平面、多少の湾曲面にOK、き裂ライン当てピン無し
- ③L型(H)プローブ：プローブ本体軸方向と4端子配列方向：平行、端子伸縮量：3mm
※測定き裂面上部の空隙が過少な場合で、き裂方向が適合する場合OK
- ③L型(V)プローブ：プローブ本体軸方向と4端子配列方向：直角、端子伸縮量：3mm
※測定き裂面上部の空隙が過少な場合で、き裂方向が適合する場合OK
- ⑤コーナー角部プローブ：8端子2列並列型：接触端子伸縮量：4mm
(ピン寸法：き裂面投影時6-3-2mm、8ピン中4ピンは荷重バランス用ダミーピン)

- ※1 コード長は①～⑤まで全て1.5m
- ※2 プローブ①～④の演算処理ソフトは同じで、被測定体の「厚み」と「き裂長さ」のキー入力となります。
- ※3 プローブ⑤はコーナー角部専用ソフトで動作します、測定角部の「角度」と「曲率半径」及び「表面き裂全長」のキー入力となります。

正面の説明



- 表示用 LCD ユニット
- 電源 On 用スイッチ (電源 On 表示用 LED)
- 電源 Off 用スイッチ
- 測定スタート・スイッチ (オルタネイト形)

入状態	測定開始
ランプ点燈状態	測定中
出状態	測定停止
- 測定電流レンジ Hi/Lo の切替スイッチで、状態は LCD の左上角に H/L 表示されますが本機に於いては Lo 側で使用して下さい。
- 測定部位の切替え設定スイッチ (V1/V0)
- 数値入力用キースイッチ類

後面の説明



- DC 電源入力端子
- データ出力コネクタ
き裂深さの測定値データを出力する RS-232C コネクタです。
- プローブ接続コネクタ
本体とプローブを接続するコネクタで



- バッテリー収納部
蓋を開け、Li イオン電池をセットする事で、屋外での使用が可能となります。
(蓋は確実に閉めてください)

本製品の全構成



※ 本装置全てを収納する事が出来るバックです。
(外寸法 W550×H255×D260 mm)

